

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部
補職名・氏名	部長 長江信行

組織目標兼管理職個人目標

目標		実施する業務の内容		成果（評定時に記入）		達成度
目標1	中心市街地の活性化及び観光誘客事業の推進	1. 駅周辺エリアの賑わい創出事業の実施 ① プラティ多治見のリーディング支援・集客イベントの開催 ② 駅南交通広場の積極的運用 2. 中心市街地活性化促進 ① たじみDMOと連携した活性化基本計画事業の実施 ② ビジネスプランコンテストによる中心市街地への出店促進 3. インバウンド事業の実施 ① TIP（インバウンド推進プロジェクトチーム）による国内外への情報発信、オンライン・トラベル・エージェントへの観光情報掲載 ② 民泊等宿泊事業への支援 ③ TIPガイドの運用による観光客受入れ支援 4. 「やくも」を活用した新たな観光PR事業の実施 5. 新たなコンテンツを活用した観光事業、主要イベントの実施		1. ①市内企業から遊具の寄附を募りプラティ2階・3階で活用、プラティ2階キタナに「こどもつつちパーク」を誘致、1階キタナとして「カネエ」誘致を支援 ② 美濃焼祭、多治見まつり等イベントで積極活用 2. ①8月びしょびしょ祭り開催支援、11月コマ祭開催 ② 6月より募集を開始し26件の応募、9月1次審査を実施しファイナリスト9者決定、2月最終審査を実施 3. ①GoogleMapへ22件情報掲載、OTAに3件掲載決定 ② 民泊事業支援補助金を創設し審査会実施（6件）、5件整備 ③ TIPガイド13人登録、9月研修会、11月活動開始 4. やくも劇場版上映、コレクトリー、聖地巡礼ツアーを実施 5. 陶器まつり、花火大会、多治見まつりを開催		T1
	関係機関と連携した中心市街地・駅周辺エリアの活性化及び市内観光資源・アミューズメント等の活用、インバウンドの推進					
目標2	セラミックパレー構想の推進及び中小企業支援による地域経済の活性化	1. 国際陶磁器フェスティバルの開催支援 2. セラミックパレー構想の推進 3. 美濃焼産業の振興 ① 叩城市、景德鎮との交流による中国への販路拡大 ② 中国での「美濃焼」商標権取得に向けた取組の支援 ③ セラミックパレー振興補助金・美濃焼タイル振興補助金の運用 ④ 全国やきもの甲子園の開催 4. 中小企業支援 ① ふるさと納税による地域産業振興・新商品開発支援（ふるさと納税額2年間で10億円達成） ② 「き」業展・企業お見合いの開催 ③ 新事業突破チャレンジ補助、副業人財活用支援等の実施 ④ 商工会議所や金融機関等と連携した起業創業支援		1. チケット売捌き、オープンファクトリー事業、意匠研展等支援 2. セラミックパークでのセラミックパレーグラフィック展 開催支援 3. ①5月中国叩城市、景德鎮市を訪問し陶磁器文化・経済・人財交流の推進について協議 ② 協議を重ね民間による地域商標の取得申請を支援 ③ セラミックパレー振興補助7件、タイル振興補助18件交付 ④ 36校・283作品応募、1月審査会、3月表彰式開催 4. ①データ分析・営業活動・新商品開発提案・コラボ商品開発、プロジェクトチームによる高額寄附対応により5億円獲得（3月末） ② 10月企業お見合い・1月「き」業展開催 ③ 新事業補助審査会実施、副業人財活用10社支援 ④ 9月タイルコンフォアアップ 補助金の審査実施（5件）		T2
	美濃焼産業の振興及び経済対策の実施、中小企業や起業支援による地域経済の活性化					
目標3	次期テクノパーク開発の調査研究及び企業誘致事業	1. テクノパークの開発及び企業誘致 ① 森下テクノパーク開発事業の実施及び誘致企業の決定 ② 中長期的なテクノパーク開発に向けた候補地の研究・選定 ③ 第1期高田テクノパークへの進出企業の誘致 ④ 第1期高田テクノパーク使用に関するJR東海との協議、土地開発公社等関係部署との管理協議、地元自治会との連絡調整を実施 2. 進出企業へのアフターフォロー ① アフターフォローによる地域交流の実施、地域貢献事業への支援 ② 進出企業等のニーズに対する新たな企画の提案及び市内企業とのマッチング		1. ①6月市有地を市土地開発公社に売却、9月開発許可申請、10月工事着手・選定方針を決め公募、3月進出企業決定 ② 開発方針の見直しを視野に新たな開発候補地をプロジェクト会議で検討し選定（3月） ③ 企業訪問、企業展示会で営業実施 ④ JR東海と使用期間等を協議しテクノパークを適正管理 2. ①トヨタ多治見サービスセンターによるフードドライブ（4回）・緑地清掃、アマゾンによる青空マーケット（5回）・高校生職場学習、NGKセラミックペイスによる市内一斉清掃、アマゾン・シイタケによる花火清掃、トヨタ紡織による地域周辺清掃を支援 ② アマゾンの新たな地域貢献活動（駅前献血）を支援		T3
	新たなテクノパークの開発・将来の候補地の研究及び優良企業の誘致、進出企業へのアフターフォロー					
目標4	農業振興及び森林整備の推進	1. 地域計画等による人と農地問題の解決 ① 農業振興地域の池田南・北小木・南姫・根本・小泉地区での地域計画の策定 ② 農業経営継続に向けた新規就農者への支援 2. 森林環境譲与税を活用した森林整備事業の実施及び林業就業移住支援 3. 農業祭の開催、農産物直売所への支援、フォーレシオの事業展開支援、地元農産物の学校給食メニュー採用による地産地消の推進 4. 有害鳥獣対策の強化及び確実な捕獲体制の維持 5. 農業委員会の適切な運営及び遊休農地対策の実施、農地パトロールの効率化		1. ①6・7月根本・小泉・南姫地区で連携会議を実施、8月池田南地区、11月根本・南姫・小泉地区で協議の場を開催、3月目標地図・地域計画策定 ② 新規就農相談4件実施 2. 池田・小泉・幸・明和・高根町の林地台帳整備、三の倉・諏訪町で森林管理意向調査実施（10月） 3. 6月駅北ファーム11周年イベント実施、11月農業祭開催、地元農産物の学校給食メニューの採用（コメ、トマト、ジャガイモ、イチゴ、トマトジュース、プロقوقリー） 4. 狩猟免許取得支援補助の相談1件、防護柵設置費補助10件を実施 5. 農業委員会総会を毎月開催、農地パトロールでタブレット端末を活用		T3
	地域計画等による持続的な農業振興の推進、地産地消の推進及び森林環境譲与税を活用した森林整備事業の実施					
目標5	陶磁器の次世代を担う人財の育成、国際交流の推進及び各種支援	1. 人財育成及び修了生の定住支援 ① 国際陶磁器フェスティバルと連動した授業、海外の美術館や大学等と連携した授業の実施 ② 意匠研究所PR展の開催 ③ 複数施設を活用した新たな卒業制作展の開催 ④ 陶芸工房バンク、修了生雇用・定住促進奨励金、修了生創作活動支援補助金の運用による修了生の定住促進 2. IAC国際陶芸学会を活用した美濃焼や意匠研究所の情報発信・海外との人的交流等による国際交流の推進 3. 3Dプリンター・スキャナ等を活用したデザイン支援 ① たじみDMOや市内陶磁器・タイル関連企業等との連携による新商品開発に向けたデザイン試作支援 ② 3Dモデリングによる技術相談、説明会等の実施		1. ①7月IAC会員の国際交流公開特別講義を実施 ② 11月意匠研究所展を開催、987人来場 ③ 2月新町ビル及びギャラリーグロイスで卒展を開催 ④ 陶芸工房バンク登録26件78ブース中72ブース利用、雇用定住奨励金2名2社認定、創作活動補助金5名交付 2. 9月IAC総会に職員が出席し陶磁器業界との共同研究について発表、IAC会員のネットワークを活用し情報発信、中国景德鎮市の陶溪川アートセンターに職員が滞在制作（12～1月） 3. ①市内陶磁器工業組合の12企業が研究会に参加、1月新春見本市で展示及び2月PRセンターで成果発表 ② 3Dモデリング65件受託		T3
	卒業生の定住支援、国際交流の拡大及び幅広いデザイン支援、技術支援の実施					
b 独自目標加算（任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		（目標設定）		（成果）		

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

組織目標兼管理職個人目標			達成度
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1 農業振興地域における農業振興と農地保全 農業の担い手確保及び地産地消の推進、「地域計画」の策定	1. 「地域計画」の策定（農振地域5地区：池田南・北小木・南姫・小泉・根本） ①連携会議等を通し各地区で協議の場を設置（R6年4月～9月） ②協議の場での協議（R6年9月～12月） ③「地域計画」「目標地図」の作成（R7年1月～3月） 2. 地産地消の推進 ①農産物直売所支援、農業祭の開催 ②地元農産物の学校給食メニューでの採用 3. 池田南地区の活性化支援（フォーレサンノクラ支援） 4. 新規就農者の相談・支援	1. ①6/12根本（根本22区民会館）、6/20小泉（小泉公民館）、6/30南姫（大針第一公民館）、7/3, 7/21南姫（大森町第二町内会集会所）で連携会議、他個別ヒアリング実施 ②8/1池田南（廿原公民館）、11/5根本（根本交流センター）、11/10南姫（南姫小学校体育館）、11/14小泉（小泉公民館）で「協議の場」を開催、北小木R6. 1/10開催済 ③計画及び目標地図を縦覧（2月）、3月目標地図・地域計画策定 2. ①11周年祭（6/8, 204人）、農業祭（11/30, 約800人） ②10. 11. 12. 1. 2. 3月にはR4認定した認定新規就農者のメ合計4, 410kgを使用 3. パン販売・春・秋祭り等イベントを支援 4. 認定新規就農者の農地集積を支援、新規相談4件	T2
目標2 森林経営管理制度推進等による森林保全 森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度の推進	1. 森林経営管理制度の推進 ①境界明確化の研究・調整・実施 ②森林管理権集積計画作成等による施業（間伐・除伐） ③林地台帳整備（池田町・小泉町・幸町・明和町・高根町） ④森林経営管理制度に係る意向調査（三の倉町・諏訪町） ⑤林業就業移住支援 2. 官行造林解除と補償額の決定 ①官行造林の補償対象箇所及び補償額の決定 ②東濃森林管理署との連絡調整	1. ①②市に委託を希望する廿原町の私有林人工林（森林経営管理集積計画作成候補地）に関し1/19地元説明会開催、R7の集積計画作成、間伐・除伐実施へ向け、岐阜県森林組合連合会と境界明確化を実施 ③R6. 5/27～R6. 10/31で1, 120筆を調査11月納品 ④R6. 6/10～R6. 10/31で206件を調査11月納品 ⑤R6年度は該当者なし。R3年度対象1名が8月、R5年度対象1名が10月に退職、林業就業移住支援事業補助金の返還を手続き、3月議会で補正予算を計上 2. ①②笠原町深山官行造林2. 58haを解除。R7解除予定地を調整し予算化。既解除地（方月地区）での森林経営計画制度活用の可能性について地元林業者と検討（ドローン調査）	T3
目標3 有害鳥獣対策等の推進 農業者や農地に対する有害鳥獣被害防止の推進と鳥インフルエンザ防疫体制の確保	1. 有害鳥獣捕獲の実施 ①事業委託する猟友会（捕獲隊）との連携・捕獲体制の維持 ②豚熱（CSF）にかかる県、猟友会との調整 2. 地域・地元住民による捕獲体制の維持支援 ①狩猟免許取得支援補助金による捕獲隊員の増員 ②防護柵設置費補助金、鳥獣被害防止総合対策交付金（再生協議会）による農地の防護柵設置 ③残飯等の放置回避や忌避剤等紹介による被害防止策の周知 3. 鳥インフルエンザ対策（緊急防疫体制の確保）	1. ①60基の箱わな（猟友会所有10基を含む）による捕獲業務を実施。12月末現在イノシシ181頭、ニホンジカ2頭、ハクビシン30頭を駆除。R7年度に箱わな10基増設を計画予算化 ②県等と情報交換、随時血液検体を採取警戒（直近発生：R6. 2/13市之倉地内調査捕獲で陽性確認以降なし） 2. ①②防護柵設置費補助金の実績10件（赤坂町4、北丘町2、大原町・池田町・笠原町・西坂町各1）、国の鳥獣被害防止総合対策交付金による大森町・根本町にワイヤーメッシュ柵を設置 ③くらし人権課と調整、区長会を通し木酢液の忌避剤活用方法を配布 3. 鳥インフルエンザ発生に備え庁内動員体制確保を依頼	T3
目標4 農業委員会制度の推進 農業委員会の円滑な業務推進と「目標地図」素案の作成	①総会（毎月）事務の円滑な運営 ②農地法の権利移転許可等の適正な運用（通年） ③農地利用最適化活動の推進 ④農地利用状況調査（7～8月）、遊休農地の利用意向調査（11月）の実施 ⑤農地パトロールでのタブレット端末の活用推進 ⑥農業委員による農業の担い手への農地の集積、集約の推進 ⑦農地の違反転用、非農地判断等の実施 ⑧地域計画の「目標地図」素案の作成 ⑨農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約の推進 ⑩農業委員への研修会等の実施	①後期総会開催10/30, 11/27, 12/18, 1/29, 2/26, 3/19 ②⑦1月総会まで農地法3条許可15件、4条許可2件、5条許可8件、5条届出42件、4条届出8件、非農地判断2件を処理 ③農業委員の農地利用最適化活動を支援、記録簿集計 ④⑤8/28農業委員会総会でタブレット端末活用研修会実施、農地パトロールでタブレット端末の活用を開始 ⑥新規就農者希望者4件に対する相談支援を実施 ⑧各地区「協議の場」で「農業を担う者」について調整し「目標地図」素案を作成 ⑨認定新規就農者へ農地集積を促進 ⑩農業委員農業会議研修会（R7. 2/18）を実施	T3
目標5			
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	（目標設定）	（成果）	

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	経済部 産業観光課
補職名・氏名	課長 久田伸子

組織目標兼管理職個人目標

組織目標兼管理職個人目標				達成度
課題		実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1	中心市街地の活性化と市内回遊促進事業 DMO、商工会議所、金融機関及び民間事業者との連携による中心市街地・駅周辺エリアの活性化	1. 駅周辺エリアの賑わい創出事業 ① プラティ多治見のリーディング支援・集客イベントの開催 ② 駅南交通広場の積極的運用 2. 中心市街地活性化基本計画事業の実施 ① 民泊等整備支援事業・さかさま不動産（DMO）物件対策事業の推進 ② コメス・びしょびしょ祭りの開催 ③ 空き店舗ツアーの開催・物件情報の共有 ④ ビジネスプランコンテストやDMOのアドバイザー制度運用等、物件と出店者とのマッチングを促進 3. 回遊促進事業 ウォーキングイベントの誘致・コース相談等による市内回遊促進	1. ①2階テナントとして「こどもつつちパーク」を誘致。誘致に際し、市内企業からの寄付を集め、子育て支援政策を軸としたプラティのリアレンジングを実施。1階テナントとして「カネエ」誘致を支援し1/30オープン、2/16わいわいKIDS広場（集客イベント）を開催②JRや道路河川課と随時協議 2. ①民泊支援補助金の創設により中心市街地への民泊等整備を推進②コメスは実行委員会を立ち上げ、11/9、11/10 開催③民泊等やシェア工房開設に向けた物件の調査・交渉を実施 ④ビジネスプランコンテストのファイナリストに物件を紹介。DMOさかさま不動産事業と連携 3. JRさわやかウォーキングをコースの相談や美濃焼祭との相互PR等随時協議し推進	T1
目標2	経済対策、地域産業の活性化 市況を踏まえた迅速かつ柔軟な経済対策の実施、中小企業・スタートアップ企業の支援による地域経済の活性化	1. 中小企業支援 ① ふるさと納税による地域産業振興・新商品開発支援（ふるさと納税額2年間で10億円達成） ② 「き」業展・企業お見合いの開催 ③ 新事業突破チャレンジ補助金運用による新事業支援 ④ 副業人材活用支援 ⑤ 多治見で働くプロジェクトの推進・人口減少対策連携 2. スタートアップ支援・伴走型支援 ① たじみビジネスプランコンテストの実施・同フォローアップ補助金による支援・相談 ② 起業支援センターの運営、コワーキング・シェアオフィスの設置準備 ③ 企業訪問による伴走型支援の強化 ④ 創業支援・DX・人材確保等のセミナーを随時開催	1. ①課総動員で寄付額向上のため、新商品の開拓やコラボ品の開発、バレンタインやお正月に向けた商品の展開を実施。また、プロジェクトチームによる高額寄附獲得のため、事業提案、調整を実施。5億円獲得（3月末）②企業お見合いは発注企業117社、受注企業も150社、338商談（過去2番目）。「き」業展は125ブースの出展、新企画「きPUCOM」を開催③2月最終審査実施④申請10件⑤5月・10月働くフェス開催 2. ①タジコンは、応募者26件（過去2番目）、タジコンハイスクールは過去最多の24件の応募。2/1 ファイルを開催②入居者のサポートを随時実施③企業訪問を随時実施④8/27突破補助金関係のセミナー、タジコン・「きPUCOM」に向けたプレゼン研修を10/16 開催	T2
目標3	観光誘客事業の推進 市内観光資源、アミューズメント等の活用、インバウンド推進、広域観光連携事業の実施	1. 多治見イベント推進プロジェクトの推進 ① 民泊等宿泊事業への支援・補助 ② GoogleMapへの情報掲載支援 ③ TIPガイドの運用による観光客受入れ支援 ④ 旅行商品の造成及びOTAへの情報掲載 ⑤ 名鉄Co-machiプロジェクトへの参加・犬山市等広域連携 2. 「やくも」の活用 ① 飲食店等をめぐるコレクターの実施 ② 劇場版（1番案）の公開 3. 観光事業・イベントの実施 ① 観光バザールの改訂・唐辛子を活用したコンテンツ開発 ② 花火大会・陶器まつり・美濃焼祭・多治見まつりの開催 ③ 日本アニメーションのラスカル等モザイクタイムミュージアム企画展を開催	1. ①民泊等整備支援補助金応募6件、9月補正にて追加4件を計上。合計5件整備②GoogleMapへの情報掲載22件掲載済み③TIPガイドの登録者13人確保。11月永保寺を中心に活動開始（11件）④欧米豪OTAに3件掲載決定⑤名鉄Co-machi、やきもの部会で誘客策を検討。瀬戸市と共同し、大阪万博に5月1週間出展予定、12月補正予算を計上し展示内容を企画。犬山市のゆるキャライベントに参加 2. ①コレクター第2弾を上映会に合わせて2/1～開催②3/22 上映会及びツアーを開催3. ①8/29 プロボザール、3月完成予定。唐辛子は、暑さ対策啓発事業として商店街で栽培。3月イベントを開催②各イベントを問題無く実施③6月ラスカル展、7月永見夏子展を開催	T2
目標4	セラミックバレー構想の推進、美濃焼産業振興及び民間活力との連携 地場産業の振興・ブランディングに資する販路拡張支援	1. 国際陶磁器フェスティバルの開催支援 2. 海外戦略の推進 ① 邛峽市、景德鎮との交流、販路の中国への拡大促進 ② 「美濃焼」商標権取得に向けた取組の支援 3. セラミックバレー構想の推進 セラミックバレー展・美濃焼解剖本の制作・CCC（セラミックバレー・クラブ・キャンプ）開催の支援 4. 美濃焼振興 ① セラミックバレー振興補助金・美濃焼タイル振興補助金の運用による事業者支援の促進 ② 全国やきもの甲子園の開催 ③ タイルが主役の新庁舎プロジェクトの推進 ④ 美濃焼を使おう条例関連イベントの実施	1. チケット売捌き、オープンファクトリー事業等に協力 2. ①中国邛峽市、景德鎮市を訪問、邛峽市での博物館オープンに向けて準備中②商標権奪還に向けた岐阜県、瑞浪市・土岐市からの協力について支援・助言3. 3/15-16 CCC 多治見会場での開催支援 4. セラミックバレー補助金の商品開発に関して基準を見直し、改善。美濃焼タイル補助金は、PRのためインスタグラムの活用を推進②応募 283作品（過去最多）・36校、団体戦13作品・9校。美濃焼祭でも高校生バトル等のイベントを実施③女性委員と陶芸作家を迎え要望案を固め、2月新庁舎建設事務局へ提出④グルメスタンプラリー 11/1～実施	T3
目標5	適性な事務の執行 各事業。手続き、関係団体等、会計処理等の事務の適性思考	① 旧勤労青少年ホームに関する業務 ② 市営駐車場関係事務 ③ 鉱業法、採石法、砂利採取法関係事務 ④ 中小企業への融資・利子補給等関係事務 ⑤ 産業観光振興計画の進捗管理 ⑥ 各種補助事業関係事務 ⑦ 国内外観光トレンドの調査、研究 ⑧ 所管指定管理施設関係事務 ⑨ 商工業関係団体関係事務 ⑩ 発明協会・クラブ関係事務 ⑪ 部内調整事務・産業観光課予算・決算 ⑫ 課内DXの推進・ペーパーレス推進	①2月～建物解体実施 ②③随時実施 ④前年度比で申請数が増加（R6 43件、R5 27件） ⑤12/18 委員会開催。次年度戦略策定 ⑥副業人材・新商品開発補助制度を創設 ⑦随時実施 ⑧7月評価委員会を開催 ⑨商工会議所・商工会と定例会を4回開催 ⑩9月発明くふう展を開催、事務局体制を検討し、文化振興事業団と連携 ⑪随時実施 ⑫市税確認のペーパーレス・電子決裁に取り組んだほか、課内の様式・決裁のペーパーレス化を実施	T3
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		（目標設定）	（成果）	

令和 6 年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

目標		実施する業務の内容	成果（評価時に記入）	達成度
目標 1	テクノパークの開発	①土地開発公社への市有地売却 ②隣接民有地の用地交渉（6月末） ③土壤汚染対策法等関連法規の適正な履行（8月） ④開発協議申請の適正実施（8月） ⑤関係機関との円滑な協議（随時） ⑥変更設計、造成工事の適正実施（3月末） ⑦地元住民との協議・調整（随時） ⑧企業の選定方針決定と誘致企業の決定（3月末）	①市有地を土地開発公社に売却（6月議会議決） ②地権者と3回の交渉実施（購入に至らず：5月） ③土壤汚染対策法に基づき適正に届出提出（調査命令等の意見なし：6月） ④開発許可申請の届出書を迅速に提出（9月） ⑤砂防国道事務所等関係機関事前協議実施（随時） ⑥入札手続きを経て工事着手（10月）。R6年度工事を予定通り実施（3月） ⑦地元区長・町内会長に対し丁寧な工事説明後、リサイクルステーションの取扱い等を協議（随時）	T2
	市有地活用のテクノパーク開発（森下テクノパーク）			
目標 2	開発候補地の調査・研究と誘致企業の地域貢献事業支援	1. 中長期的な開発候補地の選定 ①企業誘致開発方針の決定及び開発候補地の調査研究（2月末） ②公共施設管理課等との情報共有（通年） ③新たな開発候補地の選定（3月末） 2. 進出企業へのアフターフォロー ①進出企業による地域貢献事業への適切な支援（トヨタ多治見サービスセンターでの社会科見学、アマゾン多治見フルフィルメントセンター青空マーケット他、通年） ②進出企業等のニーズに対する新たな企画の提案及び市内企業とのマッチング ③地元関係者等との調整、相談支援（通年）	1. ①開発方針の見直しを視野に新たな開発候補地をプロジェクト会議で検討（2月） ②廃止予定施設等市有地に関し情報交換（随時） ③プロジェクト会議での検討を経て庁内会議にて開発候補地を選定（3月） 2. ①トヨタサービスセンターのフードドライブ（年4回）/小学生社会科見学（11月）、アマゾンの青空マーケット（年5回）/北高生への職場学習（8月）、NGKセミコンパイルの市内一斉清掃（6月）、トヨタ紡織の清掃活動（6月）を支援 ②アマゾンの新たな活動（駅前献血）に対し駅近隣企業への協力支援（10月）。市内業者紹介（2件）。 ③トヨタ紡織の清掃活動（6月）、アマゾンの車両に関し地元調整（11月）	T2
	中長期的な開発候補地の調査・研究 進出企業へのアフターフォロー			
目標 3	第1期高田テクノパークの誘致活動・適正管理と企業サポート	1. 事業用地への誘致活動及び適正管理 ①第1期高田テクノパークへの企業誘致活動（通年） ②JR東海との用地使用に関する協議及び適正管理（総務課と連携：通年） ③地元との良好な関係構築に向けた対応（通年） 2. 各種奨励金による企業サポート ①事業所等設置奨励金の確実迅速な交付（11社11件） ②雇用促進奨励金の周知と申請手続き支援（27人） ③移住定住促進奨励金による転入促進（2人） 3. 企業からの相談・要望等への支援 ①企業の工場建設等への助言、関係課調整（随時） ②工場立地法の届出支援、行政手続き支援（随時） ③テクノパーク周辺の草刈り等環境整備（随時）	1. ①企業訪問、企業展等で誘致活動実施（随時） ②使用期間等に関しJR東海と協議（4回） ③大型車両通行時の地元区長・住民に対する的確な情報提供支援、豪雨後の用地周辺環境整備（市道） 2. ①事業所等設置奨励金の支払（10社11件） ②雇用促進奨励金の申請審査・支払（5社21件）、及び誘致企業に対し制度周知（7月） ③企業訪問や各種相談時に制度周知（随時） 3. ①日本マテリアルの新規開発・新日本工業の増設に関し助言、円滑な関係課協議（随時） ②明和工業の市有地借用手続き等支援（6月） ③進出企業からの要望によりフロンティアサーチパークの支障木伐採対応（7月）	T3
	優良企業誘致活動 企業からの相談等へのサポート			
目標 4	誘致活動の体制整備と適正な事務の執行	1. 誘致活動の体制整備 ①事業の円滑実施のためのプロジェクト会議開催 ②企業誘致促進協議会における営業活動実施 2. 誘致PRの推進及び事務の適正な執行 ①パンフレットやホームページ等による効果的な営業活動 ②進出企業への雇用支援、従業員の市内定住を促進するための企業への積極的な優遇制度周知 ③5S+Sの適正実施による多治見市の良さを強調 3. フロンティアサーチパーク地区の訴訟対応（総務課と連携）	1. ①プロジェクト会議において開発候補地検討（2月） ②企業展への出展2回（10月）、ホームページの運営により事業用地をPR（随時） 2. ①営業時にパンフレットで当市のメリットをPR、ホームページに地域貢献活動内容を追加更新（随時） ②ハローワークに対し雇用につながる取組依頼（毎月）。優遇制度のチラシを活用し制度をPR（企業訪問時） ③5S+S、迅速な対応等アフターフォロー日本一を企業にPR（随時） 3. 総務課と連携し訴訟対応（第2審）。第2審判決（11/15）の結果を受け庁内協議（12/20）	T3
	企業進出意欲を増進させる体制づくりと積極的なPR活動、迅速な事業遂行とレスポンス			
目標 5				
b 独自目標加算（任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		（目標設定）	（成果）	

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標				達成度
目標		実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1	陶磁器業界の動向に迅速かつ高度に対応するための支援業務の強化	①市内陶業界やたじみDMO、産業観光課と連携した新商品開発のデザイン試作支援 ②原材料の変更等で近年顕著になってきた製品欠陥に対応する熱膨張率傾向調査(サンプル収集、測定、標本化)の実施 ③多治見陶磁器卸商業組合、高田陶磁器工業組合との連携による中国など海外市場向け的美濃焼新商品開発支援 ④3Dモデリングの技術相談・説明会等の随時実施 ⑤3DCADデータ作成等デザイン受託業務の迅速な実施 ⑥3Dモデリングや製造技術に係る先進事例の調査及び業界との情報共有 ⑦次年度以降の3Dモデリングを活用した業界支援の在り方および保有機材の更新等の方向性の決定	①市内4陶工組12企業中8社（飲食器：5社、タイル：3社）と新商品開発を実施。1月に新春見本市、2月PRセンター（テスト販売）などで成果発表展を実施。参加企業1社がふるさと納税に新規登録 ②市内業者の協力を得てサンプル10種を収集し測定。写真と数値を一覧で確認できる標本データを作成 ③陶製酒ボトル1点の商品開発を完了し、邱窯遺跡博物館オープンに合わせて同館で多治見陶磁器卸商業組合が展示販売予定 ④国内外の視察者に3Dモデリング機器の説明や質疑応答を随時実施 ⑤1月末時点で3Dモデリングを65件受託。迅速対応で依頼企業から高評価 ⑥第9回名古屋ものづくりワールド3Dプリンター展を視察し業界と情報を共有 ⑦新規FDM形式3Dプリンタを購入を決定	T2
	陶磁器産業・文化の両面で世界とつながるための国際交流事業の拡大	①IAC国際陶芸学会を活用した美濃焼や意匠研究所の情報発信・海外の最新情報収集 ②中国景德镇市・邱峽市との人的交流等による国際交流の推進 ③陶磁器フェスに関連した海外陶芸家等の市内・意匠研究所案内ツアーの開催 ④陶磁器フェス実行委員会と連携したセラミックパーク美濃での意匠研究所PR展(フェス関連催事)の開催 ⑤陶磁器フェス実行委員会コンパニオン作部会への職員参加 ⑥海外の美術館や大学等と連携した授業の実施 ⑦海外からの見学者対応の強化	①9/16～20のポルトガル総会で多治見市をPRと海外情報を収集。IACツアーに総会での発表内容が掲載 ②景德镇・陶溪川アートセンターで2ヶ月間の実地調査を実施 ③フェスティバル事務局との連携でグループ受賞者(IAC会員)の講義実施。フェスティバル期間中の外国人作家等50人以上と交流 ④意匠研究所展を開催。987人来場 ⑤図録写真撮影業者選考会、フェスティバル総決起大会、審査員歓迎レプション等に参加 ⑥10月景德镇陶磁大学教授や台南芸術大学がら30名が視察し研究生と交流 ⑦米国ボストン美術大学視察やIAC会員視察を含む18ヶ国148人の海外視察者対応を実施	T2
目標3	優秀な人材獲得に向けた研究生の募集強化と陶芸家移住・定住促進事業の推進	1. 研究生安定確保に向けた募集活動の効果の実施 ①研究生安定確保のための意匠研究所の今後の在り方の決定 ②外国人研究生応募者3名以上確保、ラボ通常選考及びデザイン・技術コース研究生応募者23名以上確保 ③研究生の増加に伴う中心市街地の複数施設を活用した新たな卒業制作展の開催 ④陶磁器フェスと連動した授業及び研究生募集PRの実施 ⑤新たなDX活用の研究 2. 修了生等陶芸家移住定住策の推進 ①修了生雇用・定住促進奨励金の運用 ②修了生創作活動支援補助金の運用 ③陶芸工房バンク新規物件開拓	1. ①産業、文化両面での人材育成の更なる推進を確認。施設整備に関して関連課との検討会議を実施。赤道や整備費等課題解決に向け関連課との調整継続 ②一次募集応募者38名（デザイン技術21名、ラボ通常5名、海外12名）、来年度入所者26名の確保。二次募集入所審査に向け準備中（定員デザイン技術5名） ③ギャラリーグレイスを2年生会場、新町ビルをラボ会場として2箇所開催 ④IAC会員の意匠研見学ツアーを実施 ⑤一次募集応募者の内10名がWEB出願を利用 2. ①修了生雇用・定住促進奨励金1件交付、2件認定 ②修了生創作活動支援補助金5件運用 ③陶芸工房バンク合計26件787㎡のうち727㎡が利用稼働中 ※卒業研究生の支援としてシェア工房開設の体制整備	T3
	安心・安全な製品づくりのための食器安全対策事業の実施	①LoGoフォームによる依頼業務申し込みの実施 ②鉛・カドミウム溶出試験2,500件、スローリング試験1,500件への安定・迅速対応可能な体制構築 ③東濃四試験研究機関技術者の相互連携による難易度の高い技術相談への対応力強化及び情報共有 ④安心・安全な製品作りに向けた欠陥原因、環境問題に係る法令等の研究生への授業実施	①依頼試験申込LoGoフォームを10月からホームページに掲載。3件程度の依頼があり、悉く試験を実施。件数の増加を見込んで操作手順・注意事項を担当者間で共有 ②試験担当者の習熟度に合わせ、担当者の配置入れ替えを実施。試験操作や判定の方針等を指導。複数人での試験対応が可能な体制を構築 ③海外の溶出試験に関する事件や輸出時のトラブル等を関係機関同士で情報共有。今後の対応への参考とし、関連事項の相談を実施 ④食品衛生法、JIS等の法令関連情報や過去の欠陥にまつわる事件等の授業用資料作成。2月に1年生向け授業実施	T3
目標5	業界団体等との連携の強化	①デザイン室や食器安全対策室等を活用した陶磁器関連情報の所内共有 ②東濃四試験研究機関協議会等、関係機関との連携・情報交換を実施し地域課題を所内共有 ③デザイン担当者会議、デザイン関連展示会等の視察を通じた最新情報の収集 ④地元陶磁器関連団体との良好な関係構築に向けた情報共有の推進	①所内研究発表で各職員が行うプレゼンや、外部等からの相談内容と回答を電子キャビネットに書き込み周知するなど所内情報共有を実施 ②四試験協議会等に参加。各試験場の事業内容や、業界のヒックスなど情報交換 ③10/23、デザイン担当者会議に参加。IAC総会で発表した内容を発表、全国の取組について発表を聞き所内で情報共有を実施 ④市内4工組及び多陶商の陶祖祭、陶磁器上絵加工工組及び岐阜県陶工組の総会等に参加し、意見交換を実施	T3
b 独自目標加算（任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		（目標設定）	（成果）	